

## 日本リハビリテーション医学会 60周年記念講演会を開催しました

2024年6月13日、「日本リハビリテーション医学会60周年記念講演会」が開催されましたので、その内容についてご報告します。

### 10年の躍進から「これからの10年」を考える

「日本リハビリテーション医学会60周年記念講演会」は、2024年6月13日（木）～16日（日）に開催された第61回日本リハビリテーション医学会学術集会の初日に開催されました。

まず、「開会の辞」と「理事長講演」は、安保雅博理事長が行いました。理事長講演の座長は、田島文博前副理事長が務め、安保理事長の講演テーマは「60周年を祝って」でした。

次に、「基調講演」の座長は久保俊一前理事長が務め、最初に「医学会2012-2016年の歩み」について水間正澄元理事長が講演し、続いて「医学会2016-2022年の歩み」について久保俊一前理事長

が講演、最後に「医学会2022-2024年の歩み」について佐浦隆一副理事長が講演しました。「基調講演」によって、50周年から60周年までのたった10年の間に、日本リハビリテーション医学会が飛躍的に進化したことがよく理解できました。

「招待講演」は、正門由久前副理事長と美津島隆副理事長が座長を務め、「理学療法士協会—この10年の歩み—」について日本理学療法士協会の斉藤秀之会長が、「作業療法士協会—この10年の歩み—」について日本作業療法士協会の山本伸一会長が、「言語聴覚士協会—この10年の歩み—」について日本言語聴覚士協会の深浦順一前会長が、「義肢装具士協会—この10年の歩み—」について日本義肢装具士協会の野坂利也前会長が講演され



日本リハビリテーション医学会60周年記念講演会壇上の様子



### 60周年記念講演会で登壇された先生方

上段左から、安保雅博理事長、水間正澄元理事長、久保俊一前理事長、  
下段左から、佐浦隆一副理事長、高木邦格国際医療福祉大学理事長



日本リハビリテーション医学会 60周年記念誌の表紙

ました。

座長を務めた安保雅博理事長が推薦され実現した「特別講演」では、国際医療福祉大学理事長の高木邦格先生が「日本のリハビリテーション医療・教育の歴史とこれからの展望」というテーマで講演されました。超高齢社会で「ともに生きる社会」を実現するためにリハビリテーション医学・医療が重要であることを再認識させられる講演でした。

最後に島田洋一前副理事長が「閉会の辞」を述べられ、無事に閉会しました。

なお、「日本リハビリテーション医学会 60周年記念誌」が医学会ホームページに掲載されております。下記の二次元バーコードまたは URL からぜひご覧ください。

(文責 広報委員会)



URL : [https://www.jarm.or.jp/document/60th\\_issue.pdf](https://www.jarm.or.jp/document/60th_issue.pdf)